



## ビッグデータを活用して食のトレンドを分析！

### 食関連産業の業務支援オンラインツール

# 「ぐるなび データライブラリ」本格的にサービス開始

[https://pr.gnavi.co.jp/promo/gdl\\_sys/](https://pr.gnavi.co.jp/promo/gdl_sys/)

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：久保証一郎 以下、ぐるなび）は、食関連産業への業務支援を目的とした、ビッグデータをリアルタイムに引き出せるオンラインツール「ぐるなび データライブラリ」を2017年6月1日（木）より(\*1)利用契約及びサービスを本格的に開始します。

「ぐるなび データライブラリ」は、飲食店と消費者の実態を把握できるオンラインツールです。ぐるなびに掲載されている加盟飲食店約16万店のメニュー情報等の掲載情報と、ぐるなび利用者約6千万人（※2016年12月現在）に及ぶ検索・行動履歴の関心情報から解析した、食のトレンドを分析するために役立つ様々なデータを提供します。消費者ニーズが多様化する中で、食品メーカーなどが抱える「何が売れるのか?」「誰が買うのか?」といった課題に対応するべく、「メニュートレンド」「メニューバリエーション分析」「店舗分析」と様々な機能を搭載しています。契約した企業は、いつでも簡単に「食」の最新動向を把握し、いち早く商品開発に役立てることが出来るようになります。利用には、月額30万円での年間契約が必要となります。

ぐるなびは、今後も独自のビッグデータから外食のトレンド動向を読み解き、飲食店と食関連産業の支援に寄与できるサービスの創出に取り組んでいきます。

\*1一部先行してサービスを提供しています。

### ■ぐるなび データライブラリ機能特徴

#### ①メニュートレンド：商品開発に役立つ外食発の食トレンドをキャッチ

各メニューに対して過去の取扱い店舗・検索の推移分析や急上昇ランキング、独自アルゴリズムから予測する今後流行しそうなメニューを引き出せます。商品開発や市場分析のための情報収集が可能です。

#### ②メニューバリエーション分析：マーケティングに役立つ各メニューのアレンジを把握

飲食店におけるメニューの展開バリエーションが検索できます。食材や季節のイベントに関連したメニューといった、さまざまな切り口で分析できメニュー提案や商品開発にお役立ていただけます。

#### ③店舗分析：営業戦略に役立つ飲食店を様々な角度で分析

メニューを提供している店舗業態やエリア、ユーザー属性、価格帯といった構造的な分析が可能です。また、エリア指定することで当該エリアの飲食店の特徴も把握でき、エリア、価格、ユーザー戦略など、営業戦略の立案・実行に役立つ様々な情報を取得できます。

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ぐるなび コミュニケーション部門 広報グループ TEL:03-3500-9700 MAIL:pr@gnavi.co.jp

# NEWS RELEASE

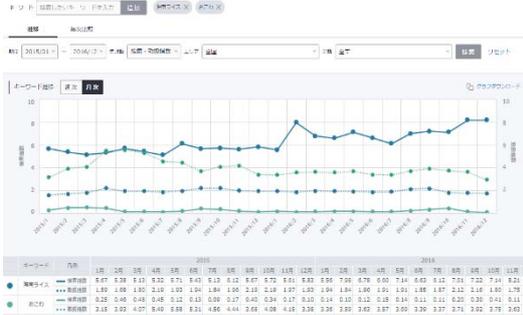
2017年6月1日（木） 株式会社ぐるなび（コード番号2440 東証第一部）



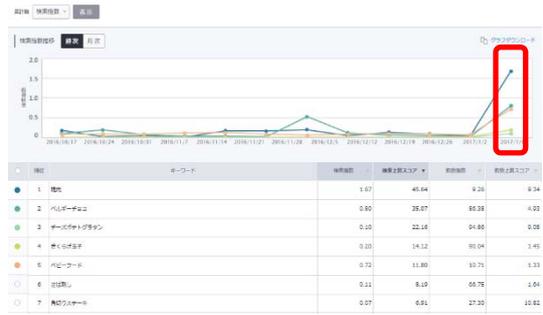
## 参考資料

### ■分析イメージ \*データの実数はイメージです。

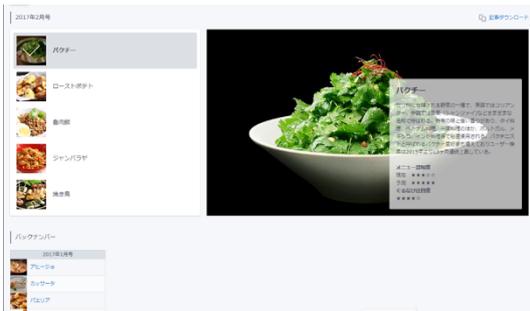
#### ① 推移検索



#### ② 急上昇ランキング



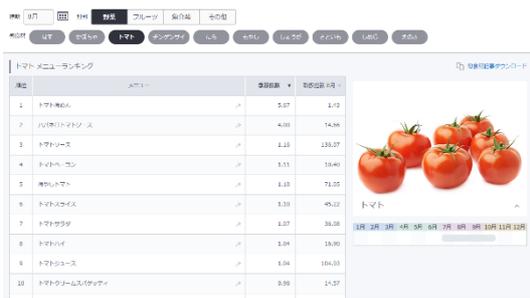
#### ③ トレンド予測



#### ④ メニュー検索



#### ⑤ 食材別メニュー検索



#### ⑥ イベント別メニュー検索



#### ⑦ エリア分析



#### ⑧ クロス分析

